



閉鎖された熊谷保健所寄居分室



テストを受ける子どもたち（写真はイメージ）



岡本安明 議員

障害者交流センターの早期建設を

答弁

建設する場合は、幅広くご意見を拝聴します

問 熊谷保健所寄居分室閉鎖後、町は県に対して「同分室の建物を壊して更地にし、無償で町に返還するよう要望する」とのことでしたが、その進捗状況を伺います。

答 埼玉県からの買受希望照会に対して、保健所建設時の経緯等を踏まえて、熊谷保健所寄居分室廃止後は、建物を解体撤去し、更地にして町に無償譲与するよう回答しましたが、その後、県からの正式回答はありません。

問 障害者交流センターについて、町は「第5次寄居町総合振興計画の後期基本計画（平成24年度～28年度）のなるべく早い時期に位置づけ、建設したい」と回答しました。

建設年度、建築予定地の状況や、建設するに当たって広く町民の声を聞くために、障害者等の関係団体をはじめ、町民の代表なども含めた「（仮称）障害者交流センター建設検討委員会」等を設置し、十分な検討を重ねる中で、よりよいものを建設するよう事業を進めるべきだと思いますが、町はどのような考えがあるのか伺います。

答 建築年度や建築予定地は、第5次総合振興計画後期基本計画の中で検討したいと考えています。

また、建設する場合は、関係団体をはじめ幅広いご意見を拝聴していきたいと考えています。



石井康二 議員

平成22年度全国学力テスト、当町の状況は？

答弁

公表できません

問 文部科学省が行う、小中学校における全国一斉の学力テストが、ことしは「抽出校」と「希望利用（抽出されなかった学校でも希望すれば受けられる）」と、「抽出もされなかったが、希望利用もしなかった」の3つに分かれました。本町で抽出校になった学校はどこですか。また、本町に小中学校は9校ありますが、その中で何校が抽出校となったのですか。

答 公表できません。

問 何校行ったか程度は答えられるのではありませんか。

答 国も県も学校名を非公開としていることから、町教育委員会も公表できません。

問 抽出校とならなかった学校については、希望利用をしたのですか。

答 希望利用は行っていません。

問 なぜ希望利用をしないのですか。

答 校長会における意見をもとに協議し、判断しています。

問 抽出されなかった学校が希望利用で学力テストを実施した場合、生徒1人にかかる町の経費は幾らですか。また、県内小中学校における位置はどの辺ですか。

答 希望利用をしていないので、経費の算出はしていません。非公開のため位置は言えません。

問 テストの結果による、各学校へのその後の指導等は、どのように行っていますか。

答 調査結果を分析し、学校としての課題をもとに各学校で指導法の工夫を重ねています。

▼その他の質問

・生きる力をつける学習について（命を大切に）

全国学力テスト 障害者交流センター